

市制90周年記念 宮崎市所蔵作品展

市では、11月8日から11月24日まで、絵画や工芸品など市の所蔵作品84点を、市制90周年を振り返る写真パネルとともに展示しました。瑛九や児島虎次郎をはじめ、現在も活躍される弥勒祐徳氏など、宮崎にゆかりのある芸術家らの作品が一堂に展示されることはこれまでになく、多くの貴重な作品の登場に、観覧者は熱心に見学していました。



ストップ! 児童虐待

11月4日に児童虐待フォーラムを開催しました。作家の石川結貴氏による「児童虐待のないまちづくり」をテーマとした講演会のほか、本市の児童虐待の現状や取り組みに関するシンポジウムも実施。市民総力戦で未然防止や早期発見に努め、児童虐待ゼロを目指します。

Miyazaki Topics | 宮崎市 旬の話題 “みやとピ” |



災害に備えて訓練を実施

佐土原地域では、11月16日の朝、南海トラフ巨大地震が発生したとの想定の下、地震発生時における初動の対応や、津波避難などの防災訓練を実施しました。国土交通省や県警、消防、自治会などの連携強化が図られたほか、訓練に参加した市民約450人は、避難経路を確認しながら迅速に避難していました。

小戸之橋と最後のお別れ

来年春に、架け替え工事のため完全に姿を消す小戸之橋。11月16日には、この橋上に魚群アートが出現しました。これは、市内の若手芸術家らでつくる「みやざきアートマーケット」が、魚の泳ぐ様子を大胆な構図で橋上に描いたもの。魚群アートが公開されたこの日、観覧者は小戸之橋との別れを惜しむように作品に見入っていました。



動画は
ココから



今は立派に生い茂っている高千穂通りの楠並木も、当時はまだ小さなものでした。



宮崎市制90周年記念 みやざきタイムマシン 橋通り3丁目交差点 昭和30年代



現在の橋通り3丁目交差点

県下随一のにぎわいを誇る、橋通り3丁目交差点(当時は橋通り5丁目)。奥に向かって延びるのは高千穂通りです。写真を見れば一目瞭然ですが、交差点は昭和40年までロータリーになっていました。車社会の到来で交通量が多くなったため、ロータリーから交差点に変わったのですが、車がすっきり定着した現在の環状交差点が再び日本の各地に導入されようとしていることを考えると、何だか不思議なものです。

ロータリー右手の建物の看板には、うっすらと山形屋の文字が見えます。橋百貨店(現在のポネルタ橋)も並ぶこの界限は、子どもたちにとっても憧れの場所。家族で買い物や食事を楽しみ、橋百貨店の屋上にあつた観覧車に乗ったという人も少なくないのではないでしょうか。